

## 2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 1 月 25 日作成)

|                              |  |                                |
|------------------------------|--|--------------------------------|
| 小委員会名                        | 高炉スラグ細骨材指針改定小委員会   | 主 査 名：阿部 道彦<br>就任年月：2012 年 4 月 |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 材料施工委員会<br>(鉄筋コンクリート工事運営委員会)   | 委員長名：本橋 健司<br>主 査 名：阿部 道彦      |
| 設 置 期 間                      | 2012 年 4 月 ～ 2013 年 3 月  |                                |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | 「高炉スラグ細骨材を用いるコンクリート施工指針(案)・同解説」は1983年に制定された。しかしながら、その後の使用材料の品質の変化やJASS 5および関連規準類の規定の変更に対応しておらず、各界から見直しの要望が出されていた。改定にあたっては、高炉スラグ細骨材指針改定WG(2009年10月～2012年3月)の成果を基に、「高炉スラグ細骨材を用いるコンクリート調合設計・施工指針・同解説」として、改定版を刊行する。特に、高強度コンクリートの項を新設するとともに、関連する新たな知見を盛り込むことを予定している。    |                                |
| 委員構成<br>(委員名(所属))            | 委員公募の有無： 無<br>阿部道彦(工学院大学)、榊田佳寛(宇都宮大学)、千歩修(北海道大学)、今本啓一(東京理科大学)、真野孝次(建材試験センター)、鹿毛忠継(建築研究所)、一瀬賢一(大林組)、浅野研一(八洋コンサルタント)、加村久哉(鉄鋼スラグ協会)、奥村博昭(鉄鋼スラグ協会)、檀康弘(鉄鋼スラグ協会)、紙田晋(鉄鋼スラグ協会)、山中量一(鉄鋼スラグ協会)、高林佳孝(鉄鋼スラグ協会)、石東昇(宇都宮大学)、竹田重三(鉄鋼スラグ協会)、佐野雅三(埼玉太平洋生コン)、二村誠二(大阪工大) : WGの委員を含む |                                |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           |  |                                |
| 2012 年度予算                    | 50,000 円   | ホームページ公開の有無：無し<br>委員会 HP アドレス： |

竹田重三(鉄鋼)

| 項 目                                       | 自己評価  |
|---|---|
| 委員会開催数                                    | 7 回(年度内計画を含む)   |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は除く)                     | 1. 高炉スラグ細骨材を用いるコンクリートの調合設計・施工指針・同解説   |
| 講習会                                       | 1. 「高炉スラグ細骨材を用いるコンクリートの調合設計・施工指針・同解説」改定講習会<br>参加者数 129 名(東京)、75 名(大阪)   |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー等)<br>*能力開発支援事業委員会承認企画 |   |
| 大会研究集会                                    |   |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等                        |   |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得られた成果との関係)            | 1. 当初の予定どおり、約 10 ヶ月(2009 年度から実施した WG を含めると約 3 年半)で指針の改定作業を終了した。<br>2. 当初の予定どおり、2013 年 2 月に 2013 年版指針を刊行した。<br>3. 2 月 15 日(東京)、20 日(大阪)にて改定講習会を実施した。 |
| 委員会活動の問題点・課題                              |   |